

## マラソンで宮城を元気に カツヨシ商事



笑顔があふれた陸上競技場

「メルヘンワールド」の屋号で宮城県を中心にホール15店舗を展開するカツヨシ商事(仙台市)は7月14日、市内の陸上競技場で「第7回元気マラソン2019」を開催。367人の個人と46組のチーム・ファミリーが参加した。

間耐久マラソンに参加。琴亮吉社長が小学生や未就学児とのじゃんけん大会を行い会場を盛り上げた。同大会には遊技業界の多数の企業も参加。ニューギングループやグロリーナスカ、大都販売がそれぞれ競技種目を協賛したほか、その他の遊技機メーカーや周辺機器企業も協賛を行った。

## 被災沿岸部で植樹 カツヨシ商事



足元がぬかるむ中で従事した

「メルヘンワールド」の屋号でホール15店舗を展開するカツヨシ商事(仙台市宮城野区)は7月6日、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市の沿岸部で植樹活動を行った。2016年から毎年参加している鎮守の森プロジェクトの一環。琴亮吉社長をはじめ、従業員やその家族32人が参加した。

この日の作業は苗木6000本の植樹。同社を含めた約4000人で森の防潮堤を作った。その後3年前に植樹が行われた別のエリアに移動し、苗の成長を妨げる雑草を除去した。12年7月に立ち上げられた鎮守の森プロジェクトには、昨年未までに延べ5.5万人が参加。岩手、宮城、福島沿岸部を中心に48万本以上の苗木を人の手で植樹している。